

校番号 58

学 校 名 世田谷区立給田小学校

令和6年度重点目標の成果と課題

・今年度も、全体的に概ね児童、保護者とともに肯定的な評価で、安定的な良い評価となっている。

成果

- ・学校行事の評価項目の評価が非常に高く、学芸会は大成功である。
- ・「先生に相談できる」の項目も急上昇しており、学芸会を教師と児童で創り上げたことが、児童自身も感じていることが考えられる
- ・「私は自分を大切な人間だと思っているの」の項目では高い数値を示しており、児童の自己肯定感が高まっているといえる。

課題

- ・タブレット学習が定着した一方、従来の勉強法と異なる指導による学習の定着率の低下も懸念される。
- ・「キャリア教育」の項目の評価の低さが目立つ。キャリア教育はその名称から職業教育と誤解されることも多く、教育活動の中で目立つものではないので保護者にとっても評価は難しい。
- ・烏山学舎の全体としての活動が見られなくなっている事が挙げられる。

対応策

- ・タブレットの扱いについて保護者と一層の連携を図りながら、どのように学習として電子端末機器を使用しているのか、どのように子どもたちの学びを導いていくのか、保護者との情報共有に努めるとともに、学校側は、ICTとノート、筆記用具との関係を大切にすることが必要である。
- ・児童同士、また教員との関わりについても成長しあえる学校行事に大切に取り組んでほしい。
- ・烏山学舎をうまく活用した子ども同士の縦や横のつながりを大切にしつつ、一定の評価を得られるよう、学舎全体で活動の見直しをしていく必要がある。

その他

- ・指導にあたる教員は、ICT活用を取り入れる際には、電子端末機器の活用自体を目的とせず、あくまでも手段としての活用という認識を持つとともに、そのメリットとデメリットを理解し、特に情報の収集と取捨選択に関する指導方法について理解することが必要である。